

いこまタウン ミーティング

令和8年5月19日

IKOMA-DO



本日の流れ

I 市長からまちづくりについての説明

1. 生駒市の現状と課題
2. 生駒市のまちづくりビジョン
3. ビジョンを具体化する令和8年度予算

II 質疑応答

I 市長からまちづくりについての説明



1. 生駒市の現状と課題



いきなりですが、皆さんに質問です！

生駒市の**良いところ**は、
どこですか？

| 生駒市の長所・強み

➤ 閑静な住宅地

人口千人当たり刑法犯認知件数 3.13件 (**県内市2位**の少なさ)

(出典：警察庁「令和5年犯罪統計」)

➤ 自然環境が豊か

人口1人当たり都市公園面積 13.0m² (国の基準は10m²)

(出典：令和6年都市公園整備現況一覧表)

➤ こどもたちの学力が高い

小学校

	国語	算数	理科
生駒市	72.0%	64.0%	61.0%
全国1位の 都道府県	71%	64%	62%

中学校

	国語	数学
生駒市	57.0%	55.0%
全国1位の 都道府県	57.0%	54.0%

(出典：令和7年度全国学力・学習状況調査)

子育て世代の転入超過(R7)： **228人**
(25歳～44歳) (出典：住民基本台帳人口移動報告)

市内での定住意向率： **88.0%**
(出典：令和7年度生駒市市民実感度調査)

住みやすさの満足度：
10年間で8.9%上昇
(出典：平成27年度生駒市市民満足度調査・令和7年度生駒市市民実感度調査)

また、皆さんに質問です！

生駒市で直してほしい、何とかして
ほしいことはありますか？

●少子化の急激な進行

出生者数

1,011人(2013年)



584人(2024年)

(出典：奈良県保健衛生統計)

●高齢化の急速な進行

高齢化率

25.4%(2015年)



29.9%(2025年)



37.6%(2050年推計)

(出典：生駒市人口ビジョン改訂版)

特に高齢者単身世帯が増加

4.4%(2000年)



9.1%(2010年)



12.4%(2020年)

(出典：国勢調査)

●共働き世帯の増加

- ・ 25～39歳の女性労働者が大幅に増加
- ・ それでも本市の女性就業率は全国や奈良県平均より低い
- ・ 創業・兼業・テレワークなどの多様な働き方、地域での就労などの確保

●域外就業率が**高い** (働く場があれば地元に残りたいニーズに応えられていない)

生駒市 51.5% (全国4位)

王寺町 41.86%

三郷町 40.91%

(出典：令和2年国勢調査 就業状態等基本集計)

●地震に対する備え

- ・ 能登半島地震等による市民の防災意識の高まり、不安の拡大
- ・ 南海トラフ地震（30年以内発生確率80%程度）、生駒断層帯
- ・ 自助、共助の強化が重要

➡ 防災リュックなどの整備率 30%以下

課題に対応するための

2. 生駒市のまちづくりビジョン



新しい働き方を増やす

地域で働く人の増加につなげる
〔起業・創業、副業支援、ワークシェアリング、
女性活躍、農業、観光、ニュータウン再生等〕

▶ 12万人全員をアントレプレナーに！

住む

豊かな住まい方を広げる

住まい方を地域課題の解決や
新たな価値創造につなげる

〔まちのえき、官民連携での子育て環境づくり、
地域共生社会、脱炭素、スマートシティ等〕

働く

楽しむ

▶ 誰一人「お客さま」にしない！

多様な暮らし方を楽しむ

豊かな自然、公園、文化資産、公共施設など
地域資源の活用によって、滞在空間の増加に
つなげる

〔芸術祭や音楽祭、公園利活用、市民活動等〕

▶ まちをセルフプロデュースする！

多様な生き方・暮らし方が叶う豊かなまちに転換

生駒市のVision「自分らしく輝けるステージ・生駒」

「ベッドタウン」を卒業し、次の50年に向けた「令和時代の住宅都市」の実現

3. ビジョンを具体化する令和8年度予算

1. こども・子育て支援、教育
2. 生涯学習・スポーツ
3. 地域共生社会の実現
4. 経済の活性化・多様な働き方
5. 防災対策
6. まちの拠点形成
7. デジタル化・行財政改革など
8. 中地区のトピックス



| 1. こども・子育て支援、教育

■ 5歳児健康診査の試行実施

R7年度にモデル事業として実施していた幼稚園・保育所への巡回方式を拡充するとともに、新たに集団方式による健診を試行実施

■ たっちの短時間預かりの拡充

こども家庭センターで実施している短時間預かりについて、北コミュニティセンターISTAはばたきにも拡充し、子育ての負担を軽減

※ファミリー・サポートの援助会員を募集中

■ 市立幼稚園での弁当給食の導入

■ 公立幼稚園再編に係る基本方針の推進と壱分幼稚園のこども園化

- ・ 桜ヶ丘幼稚園 … (仮称)桜ヶ丘こども園の設置に向けた測量等の実施
- ・ なばた幼稚園 … 敷地内での私立保育園等分園設置事業者の募集
- ・ あすか野幼稚園 … 周辺園との統合またはこども園化に向けた協議
- ・ 壱分こども園 … 令和9年度の開園に向けて、新園舎の建設工事を実施

| 1. こども・子育て支援、教育

■子育て世帯訪問支援事業

これまで実施していた「産前産後家事支援サービス」を引き継ぎ、家事・育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭や妊産婦、ヤングケアラーなどのご家庭にも支援員を派遣

■こどもの居場所づくり事業

こども食堂の開設・運営につなげる実践的な連続講座の開催と
伴走支援

学校の空き教室を活用した校内カフェや公共施設等を活用した
出張ユースセンターを試行的に実施し、ユース世代の居場所づ
くりを推進

■学童保育の充実

ニーズが高い夏期休業中の保育に対応するため、民間事業者のサマー学童開所に対する支援を
実施



| 1. こども・子育て支援、教育

■ 生駒南小学校・中学校整備事業



| 1. こども・子育て支援、教育

■ 生駒南小学校・中学校整備事業

地域づくりの起点としての学校づくり・全国のモデルケースへ

地域の資源が子どもたちの学びに活かされることはもちろん、学校と共生・多世代交流・脱炭素・学びの拠点を一体的に構想し、単なるコミュニティスクールではなく、学校を核とした地域創生を実現

時代の変化に対応する力を身につける新しい学び

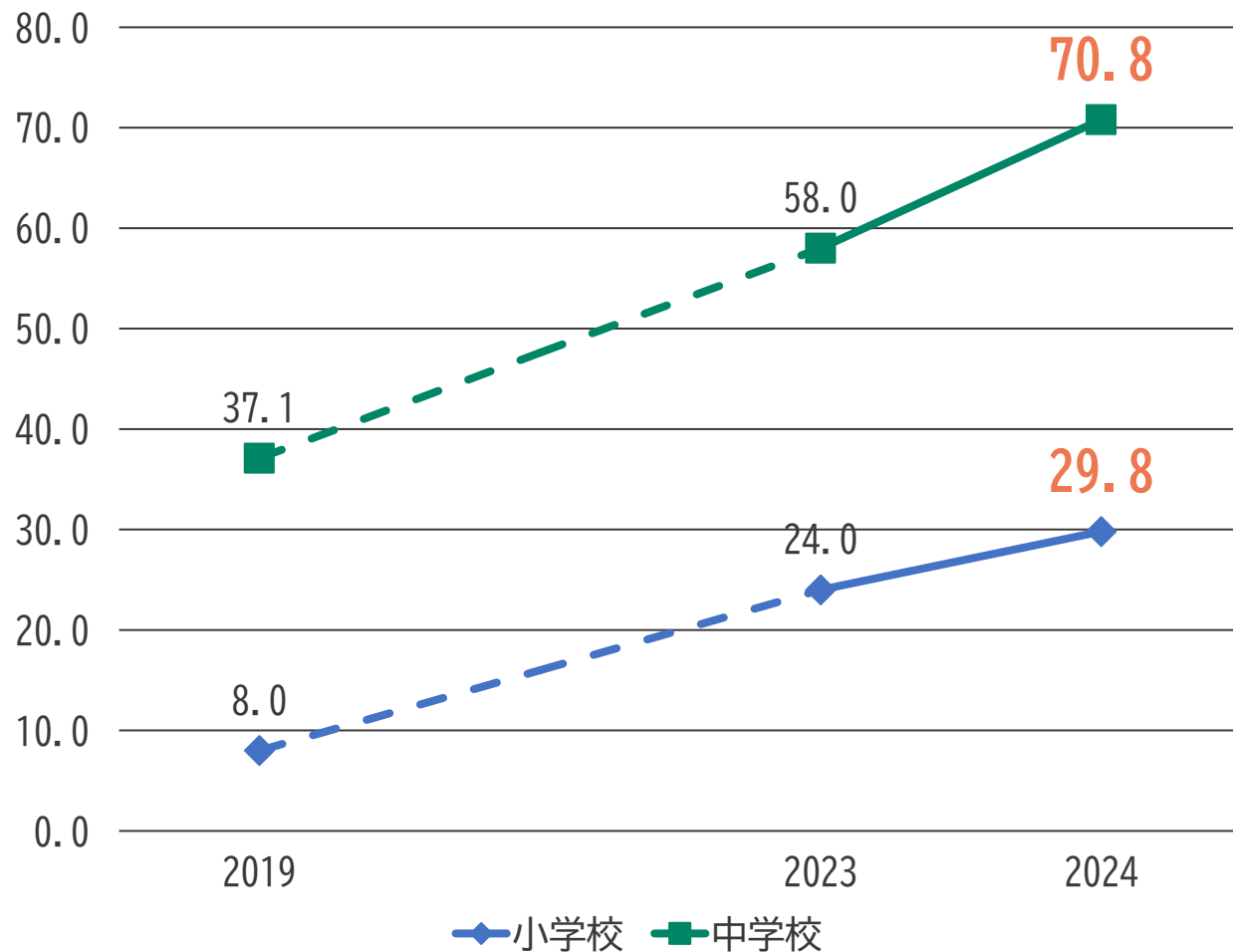
- ✓自分で決める主体性
- ✓個別・協働の学び
- ✓教科を横断する探求的な学び
- ✓得意・好きを通した学び
- ✓自分たちで解決する力



| 1. こども・子育て支援、教育

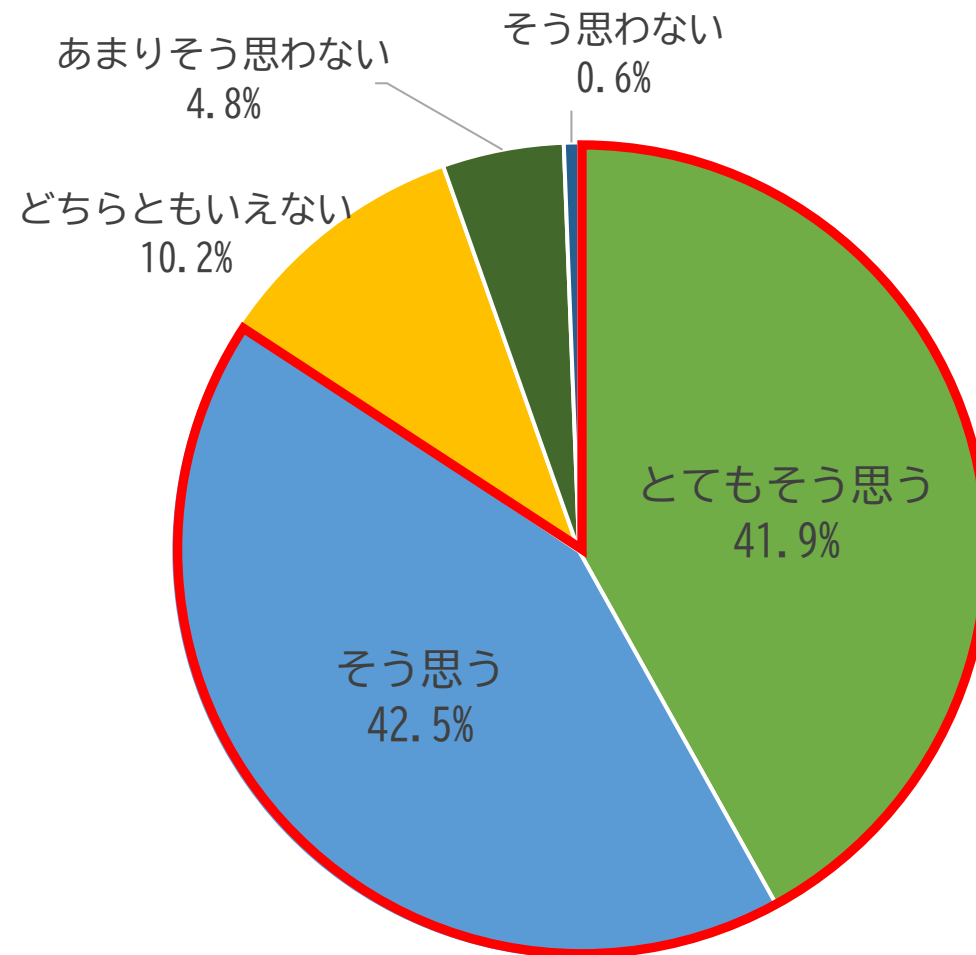
■ 多様な学びの場の確保

不登校者数（人口千人あたり）



（出典：教育指導課資料）

こどもの発達の度合いが
気になる保護者の割合



（出典：国立障害者リハビリテーションセンター
「発達が気になるお子さんの養育に関するアンケート調査結果(2022年)」） 18

| 1. こども・子育て支援、教育

■ 多様な学びの場の確保

- 学びの多様化学校のR9年度からの設置に向けた整備工事とカリキュラムの検討
 - ✓ 教室らしくない教室、自分のペースで学べる空間
 - ✓ 1人1人に配慮した柔軟なカリキュラム



- 昨年度に市立小・中学校10校に設置した校内サポートルームを全校に設置

多様性を尊重し、一人ひとりが安全・安心に学べる場

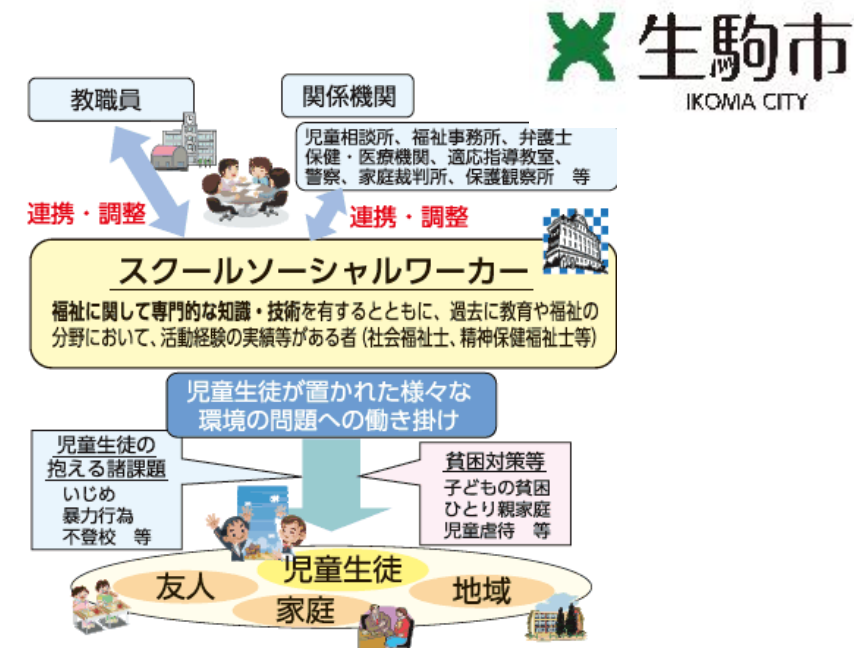
➡ 探求的な学びや多様な活動を通して、こどもたちの自己肯定感を高め、主体性を育む



1. こども・子育て支援、教育

■スクールソーシャルワーカー活用事業

社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーが各校を巡回し、不登校やいじめ、虐待、貧困などの課題を抱える児童生徒や家庭を、学校・家庭・地域の関係機関と連携して支援



■学校作業療法士配置実証事業

学習・生活に支援を必要とする児童に対して、週1回モデル校2校に作業療法士が巡回し、児童に即した具体的な支援方法を助言・指導

■熱中症対策センサーの導入

より一層の熱中症対策を推進するため、屋内外の環境数値を可視化することで、こどもたちの安全確保を迅速に図る

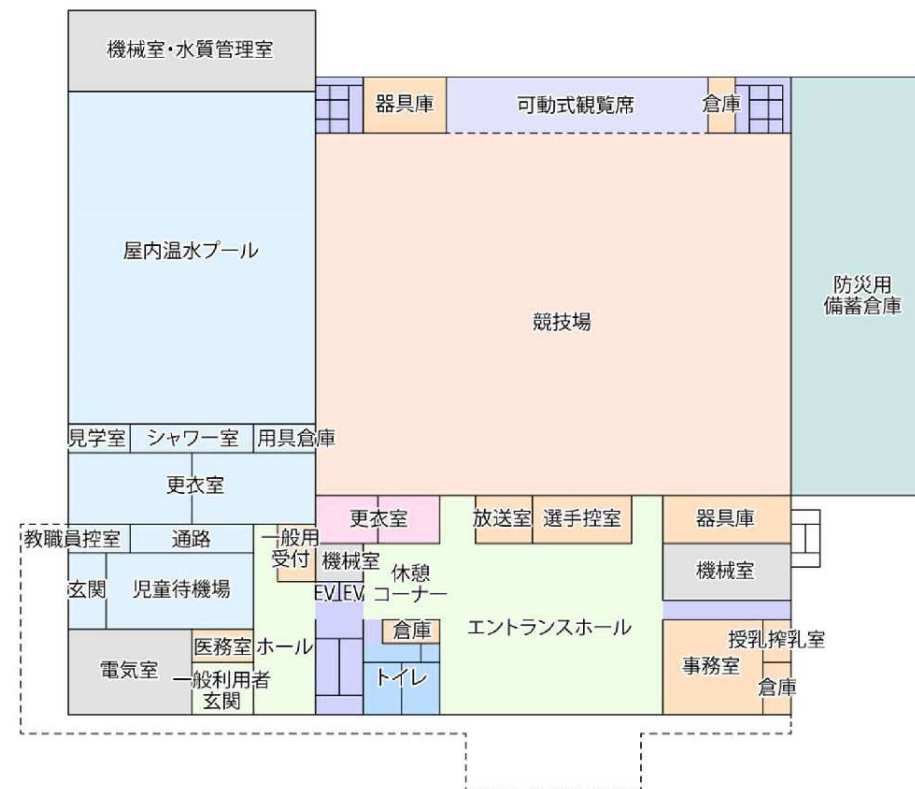
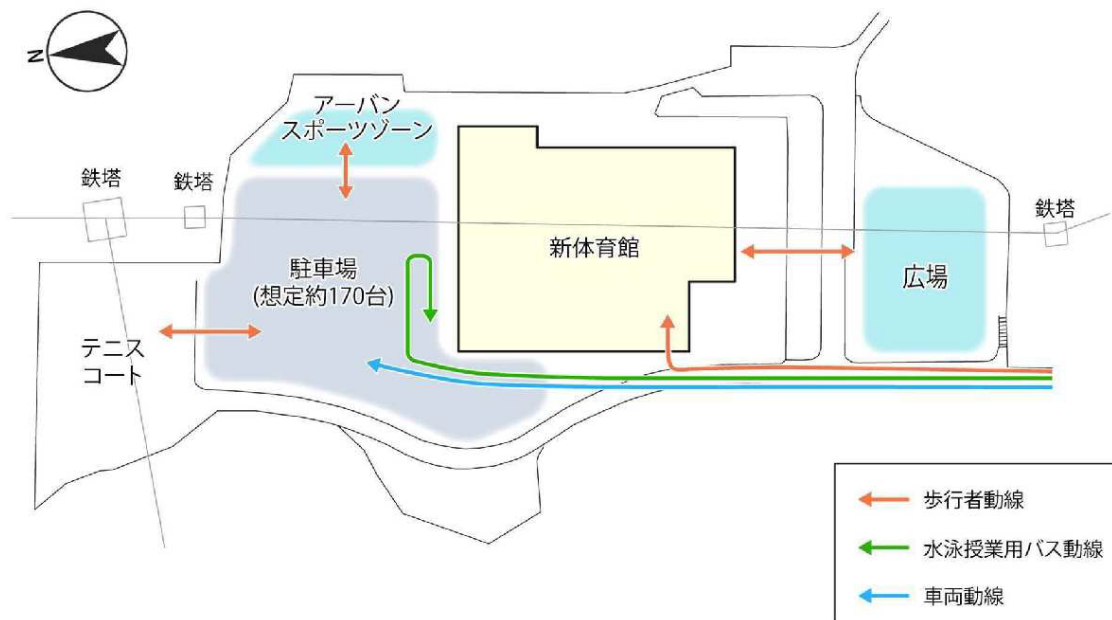
■学校給食費の無償化

国の交付金も活用しつつ、不足分を市が負担することにより、市立小・中学校の給食費無償化を実施

2. 生涯学習・スポーツ

■総合公園スポーツ施設リニューアル事業

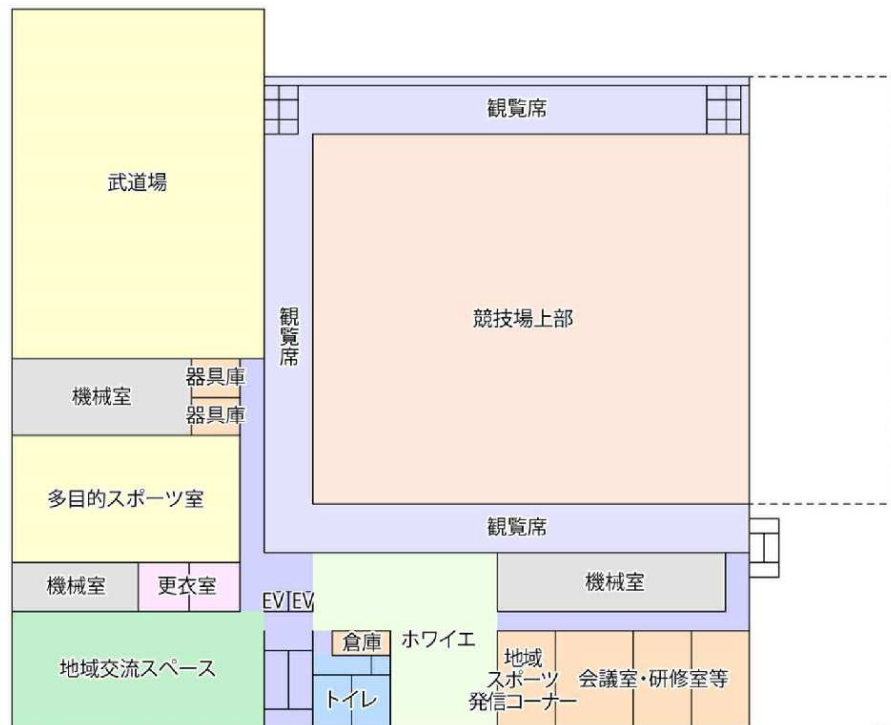
現在の総合公園体育館の老朽化が著しく進行しており、令和13年度に開催予定の国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会奈良大会での会場利用を見据えて改築



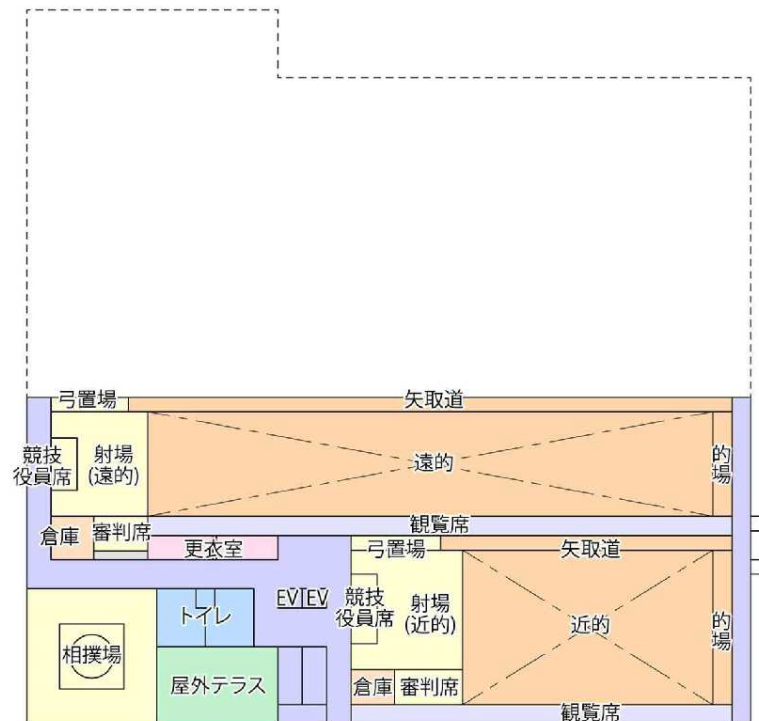
※各図面については、あくまでも現在の導入機能を仮配置したイメージで、今後変更があります。

2. 生涯学習・スポーツ

■総合公園スポーツ施設リニューアル事業



2階 平面図



3階 平面図

- ◆ 全国・県大会レベルの室内競技の大会開催が可能な競技場等
- ◆ 武道場機能
- ◆ 障がいがある方も安心して安心して利用できるスポーツ空間
- ◆ 様々なアクティビティに活用しやすい多目的空間
- ◆ 学校の水泳授業でも利用も含め、市民が広く利用可能な屋内温水プール
- ◆ 災害時の救援物資の集積・分荷機能を果たす空間

2. 生涯学習・スポーツ

■図書館本館リニューアルグランドオープン



↑ パフォーマンススペース

↓ ひよこコーナー



3. 地域共生社会の実現

■医療のまちづくりビジョンと市立病院の増床

- 社会情勢の変化を見据え、本市の医療・介護・教育など幅広い分野の関係者が連携し、**市民が安心して生活できる環境を作る**ため、2月に策定
- 令和9年4月からの**増床分20床**の運用開始を目指し工事着手



■終活等支援事業

身寄りのない高齢者が増加傾向にある中、終活の目的及び意義の啓発や、介護・医療、資産管理（家・車・お墓など）について、支援する仕組みの構築を検討

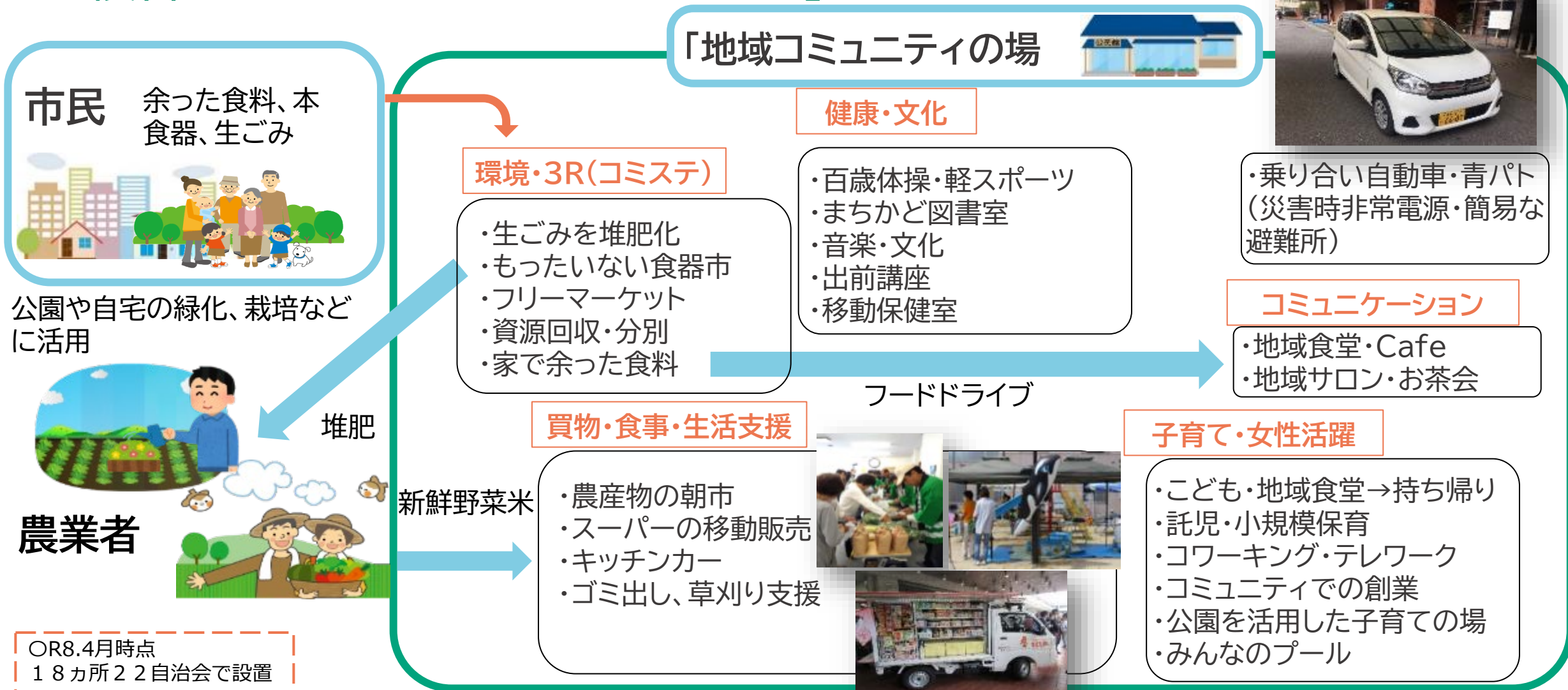


■介護予防を軸とした機能集約による多世代交流施設の整備

RAKU-RAKUハウスと近鉄百貨店6階のiスクエアを併せて、多世代交流事業や介護予防教室等も実施可能な新たな施設として整備

3. 地域共生社会の実現

■複合型コミュニティ「まちのえき」



地産地消、移動支援、地域活性化を、地域の協創で実現！

3. 地域共生社会の実現

■新しい地域コミュニティ構築推進事業

地縁による活動やテーマ型活動への支援を継続しながら、**誰もが日常の中で身近な地域とつながることができる多層なコミュニティ**を構築

① 活動の「見える化」

デジタル技術を活用して地域で行われている活動を「見える化」することで、市民が「どこで何が行われているか」を簡単に把握し、気軽に参加したり・活動を生み出したりできる仕組みを整備



② 新たな場の創出

関心やテーマを入口として、無理のない形で参加できる機会を創出し、参加者同士のつながりができ、継続する仕組みを設計



③ 中間支援機能の設計・構築

オンライン・オフラインの取組を通じて、事業終了後も継続運営できるよう中間支援の機能を手引書としてまとめる



4. 経済の活性化

■テレワーク＆インキュベーションセンター（IKOMA-D0）元町オープン

谷田町（もやい館）にあったIKOMA-D0（イコマド）に加え、新たにセイセイビル1階にも整備し、インキュベーション（起業支援）、コワーキング（協働）の拠点に



■IKOMA LOCAL BUSINESS HUB（ILBH）

- ・ 創業・第2創業、パラレルキャリア（複業）の支援
- ・ 3年連続で**100名以上**の受講希望者
- ・ これまでで**5件**の起業・創業につなげる



■市内中小企業の人材確保等総合支援事業（IKOMA FOSTER LINK）

- ・ 深刻な人材不足を課題として抱えている市内中小企業を総合的に支援
 - ✓ 専門人材とのマッチング支援
 - ✓ 人材採用・人材育成にかかるコストへの補助金／賃上げした事業者への補助金

5. 防災対策

■避難所レイアウト作成研修の実施

自治会等と連携し、大規模災害時に生活を営む避難所ごとの配置レイアウトを作成することで、地域防災力を向上

■低軌道衛星通信サービスの導入

災害時の通信手段の確保のため、市役所庁舎及び消防本部庁舎に低軌道衛星通信サービスを導入し、大規模災害対応能力を向上



■避難者把握システムの本格導入

昨年度の総合防災訓練の避難所宿泊訓練で実証実験を行った避難者把握システムを本格導入し、災害対応業務のDXを推進



■段ボールベッド、パーティション等の避難所資機材の充実

- 学研高山地区南エリア
R8年度末の**土地区画整理組合設立**を目標に事業計画・都市計画案の作成
- 学研高山地区ゲートエリア
土地区画整理準備組合の設立に向けてまちづくり協議会の運営と事業計画案の作成
- 学研北生駒駅北地区
上町芝線の予備設計等



6. まちの拠点形成

■生駒駅南口周辺のまちづくり

<将来像>

文化や商い、暮らしが息づき、すごしやすく関わりやすいまち

①都市空間



②暮らし



協創・対話

誰もが気軽に参加でき、
関わり、みんなで取り組む

③商い・観光



④子ども



まちづくりに関わる地域団体等（商店街・自治会・商工会議所・金融機関）・有識者（奈良先端大）・生駒市が「**生駒駅南口エリアプラットフォーム**」を設立し、公民連携で魅力創出や価値向上を推進

6. まちの拠点形成

■プラットフォーム等によるこれまでの取組

- 道路の**新たな活用方法（くつろぎ・賑わい）**を探る社会実験



- 遊休不動産を活用した**チャレンジショップ**の仮設



- **歩車分離**をして安全で歩きたくなる空間創出に向けた社会実験



6. まちの拠点形成

■プラットフォーム等によるこれまでの取組

● 「いこみなチャレンジ」 生駒駅南口エリア事業伴走プログラム

地域の更なる活性化を目指し、所有者が大切にされてきた物件を活用して、お店をオープンしたい人や活動したい思いのある人に、専門家（メンター）が伴走支援するプログラムを実施



最終通過者によるガバメントクラウドファンディングの実施



ギャラリー＆ワークショップスペースの開業予定（R8年度中）



スパイスカレーショップの開業予定（R8年度中）

| 6. まちの拠点形成

■今年度(令和8年度)の取組み

“居心地が良く歩きたくなるまちなか” に向けて

- 生駒駅～宝山寺周辺の**公共空間再整備**のための基本構想策定
宝山寺参道・さくら通りをはじめとする駅周辺の道路空間等の整備に関する基本構想
- 街なみ環境整備計画・景観計画に基づくハード整備に向けた設計等
- 参道沿いの住宅等の改修に要する経費を助成し、参道の趣を活かした街なみを整備
- いこみなチャレンジ参加者等によるまちづくり組織構築を支援



6. まちの拠点形成

■生駒山を通じた観光振興

生駒山の「ミシュラン・グリーンガイド」の星獲得

- 東大阪市、観光関連団体、近鉄GHD(株)、近畿日本鉄道(株)、生駒市で構成する「**生駒山ブランド推進協議会**」の運営
＝ 生駒山の魅力を協働で開発

連携施策の第一弾「**生駒山かき氷プロジェクト**」をスタート

生駒山周辺や沿線エリアの飲食店・観光施設が連携し、生駒山にちなんだオリジナルかき氷を提供し、夏の観光資源として展開

- 生駒山上遊園地沿いの市道の美装化

生駒駅、宝山寺、遊園地駐車場から登ってきた人が最後に通る市道を美装化し、山頂への「最後の一步」を特別な体験にする

- 生駒山周遊のための道標設置

生駒市・東大阪市の両市で統一感ある道標を整備

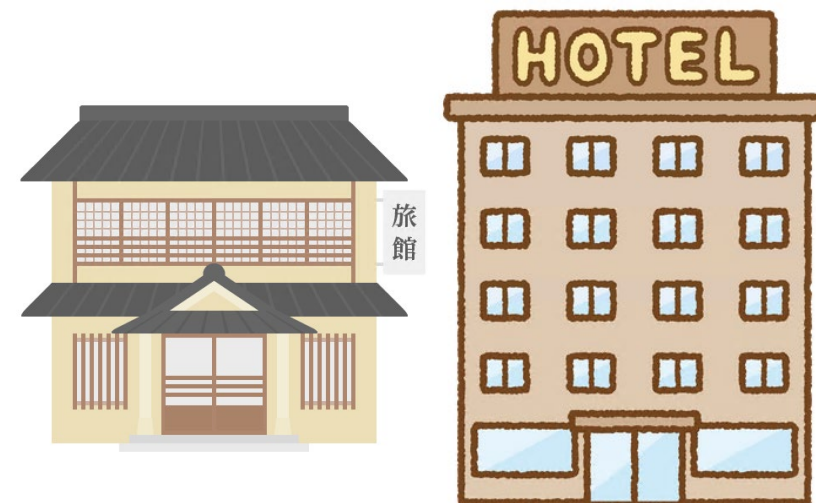


6. まちの拠点形成

■宿泊施設の充実

- 本市の魅力を発信し、**宿泊施設(ビジネスホテル、旅館など)**を誘致

(候補地：生駒駅前、学研高山第2工区、宝山寺参道、生駒山上)



■観光案内所「IKOBA」を核とした魅力発信

生駒駅北口直結の「ベルテラスいこま」3階に、**観光案内とカフェ・バー機能**を併せ持った「**IKOBA (イコバ)**」が令和7年8月にオープン

観光案内業務等を通じて市の魅力を発信

IKOBA 



| 6. まちの拠点形成 “いこみなエリア” と “生駒山” の将来イメージ

COOL JAPAN AWARD



秋の人気上昇エリア(2025)で全国6位
(ナビタイムジャパン調査より)



| 6. まちの拠点形成



生駒山を
西の高尾山に

7. デジタル化・行財政改革など

デジタル化

■ 窓口DXの推進

- ・ 「書かない・待たない・回らないワンストップ窓口」の実現を目指して、デジタル技術を活用した業務フローの再構築を実施

■ AI活用と行政手続のオンライン化

- ・ 行政事務のあらゆるところで、セキュリティ・安全性が確保された生成AIを活用し、事務を効率化
- ・ 222件、24%の手続をオンライン化し、今後も順次拡大

■ オンライン来庁予約システムの導入

- ・ 市役所窓口の一部の手続について、オンラインによる来庁予約を受け付けると、窓口に優先的に案内し、待ち時間の短縮が可能



↑こちらからアクセス

SDGs

■ 脱炭素住宅都市モデルの実現（脱炭素先行地域）

- ・ 国からの補助金を活用したモデル地区を公募により拡大し、既存住宅地、公共施設、自治会集会所及び民間施設に太陽光発電設備と蓄電池の設置促進
- ・ 災害時の防災対策にもつながる

| 8. 中地区のトピックス

■ 谷田小明線道路改良事業

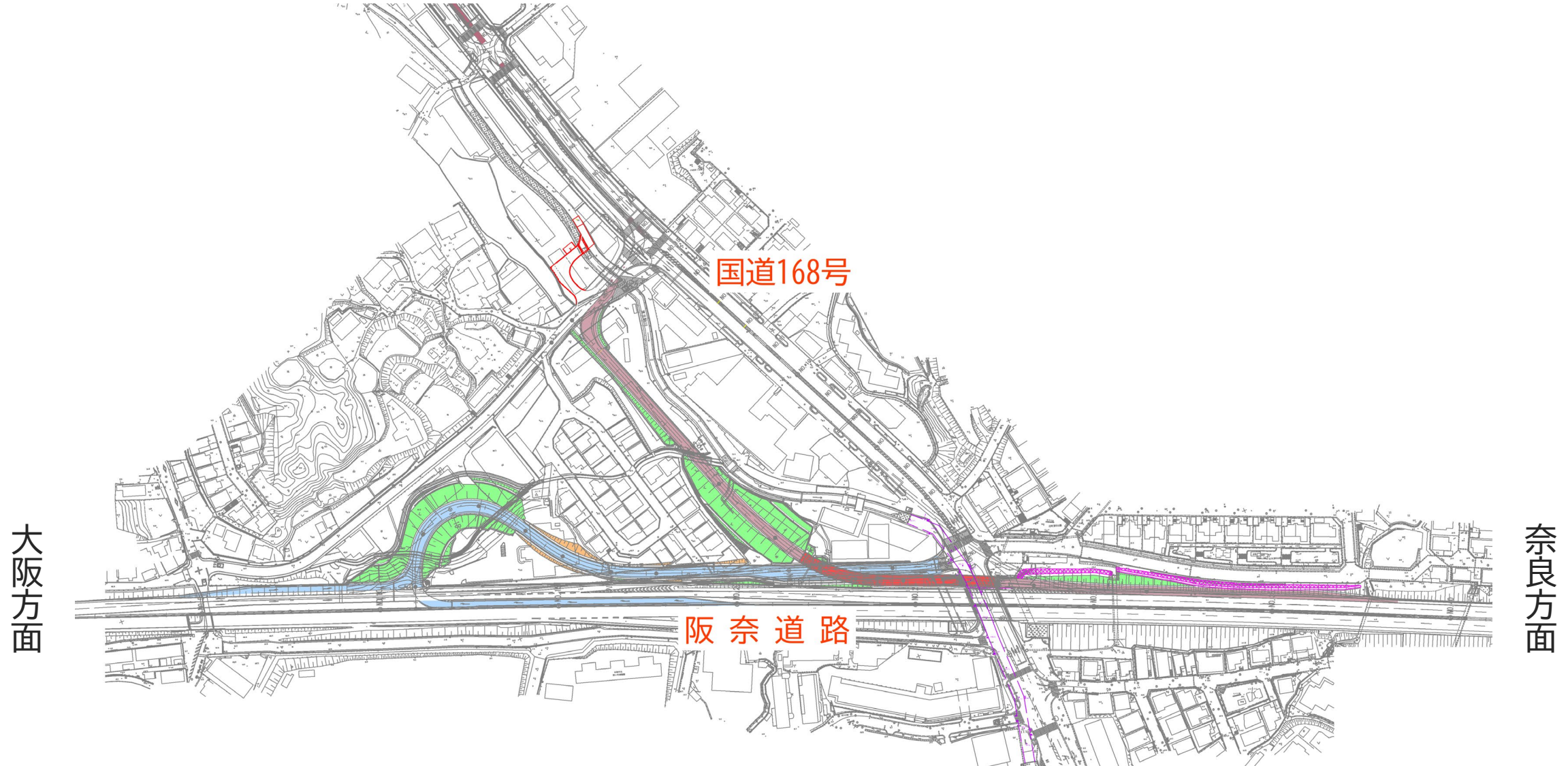
【完成イメージ図】



令和9年3月末完成予定

| 8. 中地区のトピックス

■ 阪奈道路辻町インターチェンジのフルインターチェンジ化



| 8. 中地区のトピックス

■ 阪奈道路辻町インターチェンジのフルインターチェンジ化



奈良ONランプイメージ

| 8. 中地区のトピックス

■ 阪奈道路辻町インターチェンジのフルインターチェンジ化



<令和8年度>

奈良県：警察官舎の解体
市：周辺道路への交通影響
検討

インターチェンジ整備後の
周辺道路の交通渋滞等の影
響が課題



<令和9年度以降>

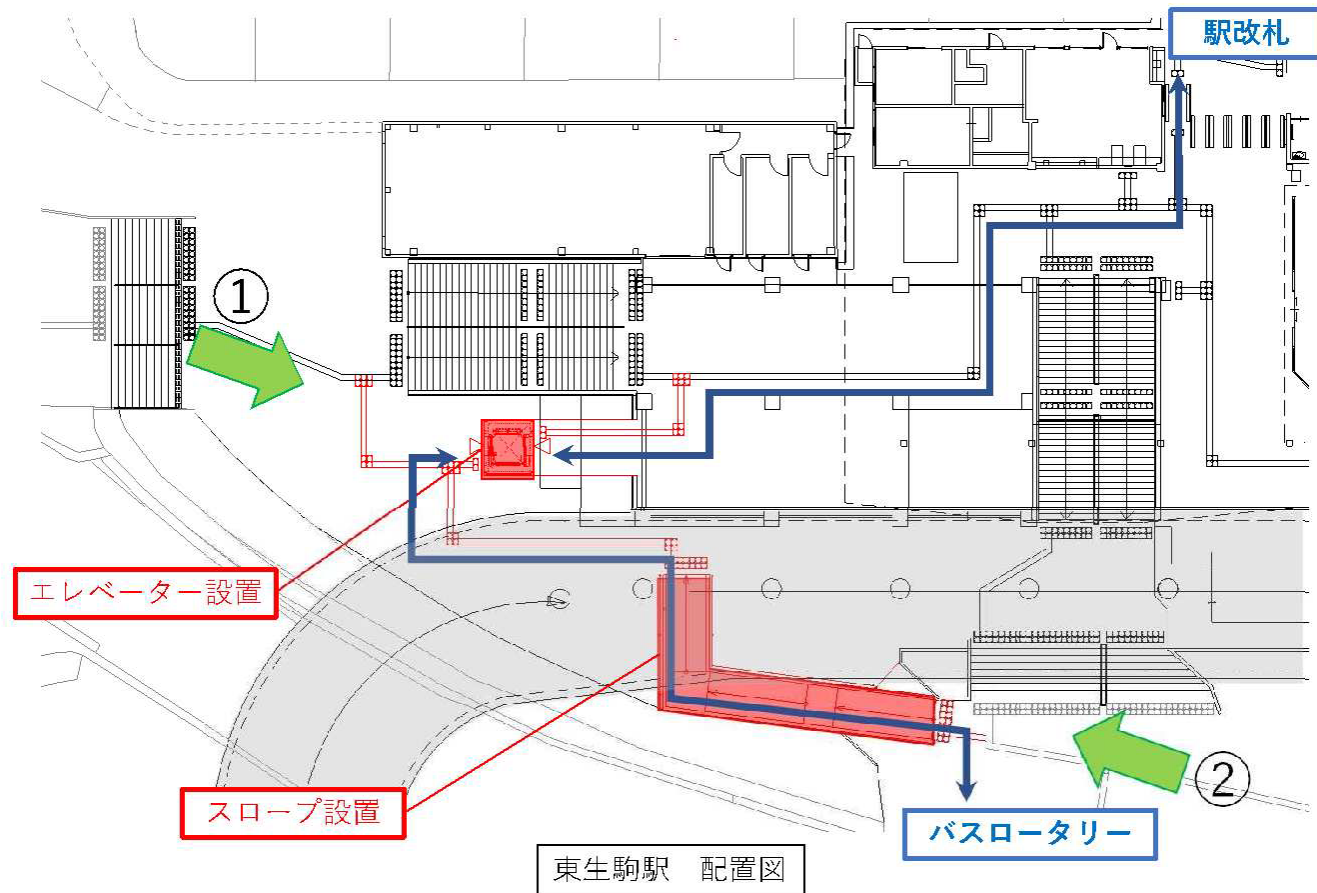
交通影響を踏まえた市道整
備等の対応検討

(出典：奈良県HP)

8. 中地区のトピックス

■東生駒駅のエレベーター等の整備

近鉄東生駒駅における課題であった駅構外部でのさらなるバリアフリー化を図るため、近畿日本鉄道(株)と連携し、エレベーターやスロープ等を整備



令和9年3月末完成予定

ご清聴ありがとうございました



II 質疑応答



質問ツール「Slido」の使い方

5/19 (火) IKOMA-
DO

アカウント不要、アプリ不要でご質問いただけますのでご利用ください。
まずは下の二次元コードをスマートフォンなどのカメラで読み込んでください。

A screenshot of the Slido mobile app interface. At the top is a blue header with a back arrow and the text 'Ask the speaker'. Below this is a text input field with the placeholder 'Type your question' and a character count '160'. A red box and the number '①' highlight this input field. Below the input field are three buttons: 'Improve' (with a star icon), 'Shorten' (with a scissors icon), and a share icon. Below these is a name input field with the placeholder 'Your name (optional)' and a red circle with the number '②' next to it. At the bottom right is a green 'Send' button, which is also circled in red.

①にご意見等を入力します
(日本語で入力できます)

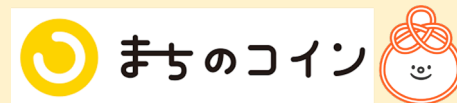
②ご意見等を入力したら、
「send」を押すと質問が事務局
に送信されます

アンケート回答にご協力お願いいたします

アンケート回答はこちら



まちのコイン「くるり」
ポイント獲得はこちら



本日はご来場いただきありがとうございました。